
あひるちゃん#2

発波

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あひるちゃん#2

【Nコード】

N6862H

【作者名】

発波

【あらすじ】

入学式、テンパる瞳に爽は……。爽と関係あり？な美人（鬼）担任も登場。入学式偏

02*あひると美しい鬼人

それから

わたしと一ノ宮爽君は

入学式が始まるまで話をした

彼が一方的に話してるような感じで

わたしもなにかしゃべらないと大変だろうなっては思っていたけど
なにをしゃべればいいのかわからなくなる

爽

「なあ、瞳ってさアヒル好きなの？」

この質問は答えない！

瞳

「・・・すき！」

爽

「へえ、その反応だと相当すきなんだな」

また笑って

彼は受けとめてくれた

人に初めて自分を出せた

爽君は本当に優しい人だ

そのとき

《ガラッ

「はい、起立！」

突然ものすごい美人が入ってきて
教卓の前にたった。

声がハスキーヴォイスで
ルックスからなにやらオーラまでかっこいい女性だった。

湊

「えー、初めまして。今日からここの担任になる相塚湊あいづかりくよ！恋人は
寿司！よろしくね」

堂々としててほんとにかっこいい先生だ

爽

「・・・まじかよ、」

爽君の呆れた声

瞳

「？」

爽

「あ、いやなんでもねえよ。・・・それより、お前の隣の席の奴きてねえよな」

瞳

「・・・ほんとだ、」

誰がくるんだろ、

達

「じゃーこれから入学式になるから服装ちゃんとするのよ？特に、
そこの赤髪！！」

赤髪って爽君のことだ；

爽

「はあ？うつせえよ女男！」

ってちょっと！

漑

「うつせ！・・・コホン。ほら！廊下にならんで！」

漑先生の怖さにみんな静かに廊下にならんでいく

爽

「ったく、恐がらせてどうすんだよ。瞳、お前一番だろ」

瞳

「うゝ、うん」

爽

「お前一番最初に入学式会場入るんだぜ？」

あ。

爽

「うわっめっちゃ冷めた顔した！」

また笑った

そんなにわたしの顔おもしろいのかな、

って

一番最初とか緊張する……

それを見ていた爽君は

爽

「俺はお前の後ろにいるからな」

と言ってわたしの頭を軽く叩いた

また爽君からパワーをもらった

このパワーってなんて言うんだろう

瞳

「うん、」

そして入学式

わたしは普通に歩いて
普通に返事ができた

緊張はそんなにしなかった

彼のおかげかもしれない

——いついつときは・・・

爽

「瞳、入学式やっと終わったな！もう家帰んのか？」

瞳

「爽君。」

爽

「ん？」

『ありがとう』

——君にその言葉を伝えるよ

この感謝をわたしは忘れない

そしてわたしは
教室を出た

アヒルのキーホルダーを揺らしながら。

爽

「ちゃんとしゃべれんじゃん。」

明日からまた会えるんだと思うと
明日が楽しみだ

青柳 瞳。

クールなあひるちゃん。

爽

「俺も帰ろ、」

今日は
寿司だな

アヒルちゃん

今日の晩ご飯は
お寿司にしようか

02*あひると美しい鬼人（後書き）

初めまして*。発波です。発投稿させていただきました。文章力が
まだまだ未熟者ですがどうぞよろしく願います！*

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6862h/>

あひるちゃん#2

2010年10月18日22時30分発行